



東京の木・いえづくり協議会

<URL> <http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/> (住宅政策推進-より良い住宅)

■ 概要

東京の木・いえづくり協議会は、製材所、工務店、設計事務所及び西多摩地域の市町村をメンバーに東京都が事務局となり、平成13年に設立された任意の団体です。

東京都と会員が連携し、東京の木(多摩産材)を使用した住まいづくりを通じて、安全で安心できる居住環境の実現と、持続的な森林資源の構築、循環型社会への寄与に努めております。

■ 協議会の構成メンバー(詳細はホームページをご覧ください。)

- 東京の木を活用した家を手がけている設計事務所、工務店等
- 森林組合、製材所など木材供給者等
- NPO、協同組合などの団体
- 地元市町村(あきる野市、奥多摩町、檜原村)
- 東京都都市整備局、産業労働局(事務局)

みみより情報

優遇融資制度『とうきょうの森のいえ』

(詳細はホームページをご覧ください。)



目的: 多摩産材(東京産の木材)を活用した住宅供給を促進し、良好な住宅ストックの形成と健全な森林の育成を図っていきます。

内容: 東京の木・いえづくり協議会が民間金融機関や西多摩地域の地元自治体と連携し、都民等が多摩産材を住宅に活用した場合、住宅ローンの金利について、標準金利よりも優遇を受けることができます。

特徴: ①実施金融機関(7つの金融機関)

②融資条件(住宅に関する条件)

東京の木・いえづくり協議会会員が建築に関わり、かつ住宅建設に使用する木材の50%以上を多摩産材とすることが、優遇融資を受ける条件。

(東京都外に建設する住宅に対しても上記条件を満たしていれば、融資の実施は可能。)

発行

東京の木・いえづくり協議会事務局

東京都 都市整備局住宅政策推進部民間住宅課

産業労働局農林水産部森林課

TEL 03-5320-5006

TEL 03-5320-4858

(平成20年度版) 登録番号(20)45

東京の森の木で



東京の森の木で
家をつくるって
どういうこと?

家をつくろう!



なぜ、東京の
森の木で
家をつくるの?

環境への配慮と
安心して住める
いえづくりを
めざして



東京の森の木で
家をつくるには、
どうすればよいの?

東京の木・いえづくり協議会



東京の森の木で家をつくろう!

東京の森の木で家をつくるってどういうこと?

東京の西部、多摩地域には家づくりに適した木材を産出する53,000haに及ぶ森が広がっています。数十年前まで、これら東京の森の木を使った家づくりの文化がありました。「東京の森の木で家をつくる」ということは、もう一度、この家づくりの文化を見直してみようということです。

なぜ、東京の森の木で家をつくるのでしょうか?

東京で育った木は、東京の気候風土を知っているからです。

雨が多く、湿度の高い日本の風土には、家の中の湿度を調整してくれる、地域の風土で育った木の家が適しています。

元気な東京の森を、子や孫の時代に引き継ぐことができます。

森の木を使うことにより、荒れた東京の森はよみがえり、豊かな緑とおいしい空気を提供するだけでなく、水害や夏の水不足などを防ぎ、地球温暖化の防止にも貢献します。

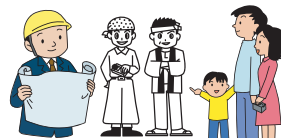
木は再生可能で繰り返し利用することができます。

木の家は、その役目を終え、こわされた後も有害な化学物質をあまり出さず、土に還ったり、再生されるなど環境にやさしい資源です。

東京の森の木で家をつくるには、どうすればよいの?

家づくりは、林業家、製材所、設計事務所、工務店と、建て主の協働作業です。

よりよい家づくりをすすめるためには、これらの家をつくる方々と話し合いながら、おたがいに顔が見える関係をつくりましょう。建て主さん自ら家づくりに参加することが大切です。

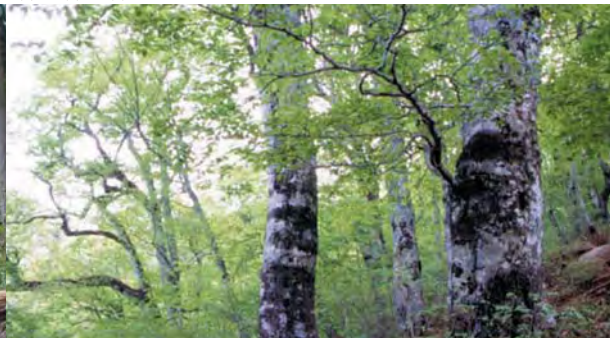


まず、「東京の木・いえづくり協議会」にお問合せください。

東京の木・いえづくり協議会は、東京の森の木を使った家づくりの相談相手をご紹介します。そこからあなたに最も適したパートナーを選んでください。



裏面もごらんください。\\



東京の木を使った家 T邸(八王子市)

平成18年 1月竣工



■ 建て主さんの声

木の香りに包まれてゆったりと過ごせ、居心地が良すぎて『出無精になりました』自分たちで磨いた丸太にも愛着が有ります。

■ 製材所の声

お客様と顔を合わせ、何度も足を運んで頂き、一緒に木と対話をしながら心をこめて製材し、秋川木材協同組合の仲間と協力して納材致しました。

(有)沖倉製材所 (会員)

■ 設計者の声

棟梁からの提案で『東京の木を使いたい』と有りお客様に了承して頂き、製材所と棟梁の協力で良い設計が出来ました。和を輪にシフト出来た事で、お客様にも満足頂けたと思います。

エム・ワイ(有)一級建築士事務所 (会員)

■ 工務店の声

山から施工までこの住宅に携わる人たちの顔の見えるように、お客様とのコミュニケーションが取れる環境づくりに心がけました。特に東京の木が全員の気持ちを一つにしたのではないかと思います。

(株)品川建築工房 (会員)

東京の木を使った家 T邸(埼玉県・日高市)

平成18年5月竣工



■ 建て主さんの声

「家」に求める概念は、安全・安心・快適と耐久性ではないかと思えます。

職人の技と東京の木によってみごとに組み上がりました。

■ 製材所の声

「東京の木」で手入れをされ育てられた「東京の木」の持つ温かさ、やさしさを長く感じていただければ幸いです。

(有)浜中材木店 (会員)

■ 設計者の声

住む方の気持ちと、素晴らしい「東京の木」と、そして人々の技と心により、隣接する森と響きあう美しい「木組」の家ができたと思います。

一級建築士事務所 WHAT・渡辺 (会員)

■ 工務店の声

木を生かし長く持つよう心を込めて造りました。お客様の喜んで下さることが何より嬉しいです。

(有)並木工務店 (会員)

東京の木を使った家「吉祥寺の家」(武蔵野市)

平成19年 1月竣工



■ 建て主さんの声

奥多摩材をふんだんに使った家が完成し、はや一年。木肌の色も落ち着き、もう何年もここに暮らして居るようです。冬は足元から暖かく、夏は、外から家に入ると気温が何度か違うのがわかります。たまにドライブで奥多摩に出かけるのですが、ここで生まれ育った木が、我が家で使われ、どっしりと支えているんだと思うとちょっと感動です。

■ 製材所の声

無垢の木は生きています。時と共に移りゆく気の息遣いを五官に感じながら住んで下さい。環境に良い家は、人にも優しい。
(㈲浜中材木店 (会員))

■ 設計者の声

今多くの住まい手のみなさんが求められているのが無垢の木による木組の家です。東京の木は充分その要求に応えることができると実感できました。
(㈱松井郁夫建築設計事務所 (会員))

■ 工務店の声

今までに他の産地の材料を使った経験もたくさんありますが、多摩産の杉・桧材はとても良質な材料です。東京で家を建てるなら、第一にお薦めします。
(㈲キューブワンハウジング (会員))



東京の木を使った家 M邸(調布市)

平成20年 7月竣工



■ 建て主さんの声

東京の森を見て、その木が多摩で製材されて私の家が建ちました。柱や梁を見るたびにあの森の景色が目に浮かびます。

■ 製材所の声

建て主さんの顔を思い浮かべて、良い家になれよと願いながらこの柱、この梁、この丸太を製材し、納入しました。
(㈲沖倉製材所 (会員))

■ 設計者の声

造る側と住む側と良い結びつきが出来、家族の暮らしに合った良い住いとなりました。協議会の成果だと思えます。

(一級建築士事務所アー・ライフ(会員))

■ 工務店の声

良い材が入りましたので、しっかりと施工しました。胸を張って良い家になったと言えます。それが私たちの喜びです。

(㈱ダイケン住宅(会員))

